

関中学校だより



関中学校HPにアクセス

※ 第25号 ※

令和6年12月19日発行

亀山市立関中学校

文責：堀内

差別をなくすためにできる行動は？

12月16日(月)、関中学校人権フォーラムがありました。人権フォーラムのめあては「各学年の人権学習の取り組みについて知ること」「差別をなくしていく行動について考えること」です。人権サークル「ヒューマンライツ」がフォーラムの進行をしてくれました。各学年の人権学習の取り組みの報告後、班分けをするために1月から12月まで誕生日の順番に、言葉を使わずジェスチャーだけを使って、全校生徒が順番に並ぶ「バースデーチェーン」という活動をしました。私は、100人を超える人数でバースデーチェーンをしたことがなかったので、正直できるのかどうか不安でしたが、難なく生徒たちは誕生日の日付順に短時間で並ぶことができ、さすがだと思いました。その後、全学年で小グループを作り、「差別をなくすために自分たちができる行動」について話し合いをしました。どのグループも積極的に自分の意見を出し合っていました。それぞれの学年単位で人権学習を行っていましたが、人権フォーラムは全学年の交流という形で行われました。学校全体で人権について考えるとてもよい機会になったと感じました。今後、人権フォーラムで話し合ったことをしっかりと意識して、学校生活を送ってほしいと思います。



3年生報告



2年生報告



1年生報告



バースデーチェーン



グループ交流



全体交流

差別をなくすためにできる行動について考えました

- 相手が嫌がるようなことをしない。○相手の気持ちを考えて発言する。
- 差別について正しく知る。○外見や偏見で決めつけず、人の中身をしっかりとみる。
- 事実をしっかりと確認する。○一人ひとりの個性を大切にし、違いを認め合う。

関中学校区人権フォーラムがありました

12月6日(金)、関中学校人権サークルのメンバー9名、関小学校と加太小学校6年生のメンバーで校区人権フォーラムを行いました。「あっていい違い?」「あってはいけない違い?」についてそれぞれに意見を出し合い交流を行いました。人の意見にしっかりと耳を傾け、発言した人に拍手をする姿が印象的でした。中学生がリーダーシップをとり、小学生をリードしている姿に生徒たちの成長を感じました。今回話し合った「あってはいけない違い」については、どのように「違い」をなくすために行動していくかについて考えていく必要があります。実際に行動をすることで、人権が尊重される社会に変わっていくのだと感じています。



ちがいのちがい

あなたは どう 思いますか? あっていいちがい?

- ① 会社の社長は圧倒的に男性が多く、女性が少ない。
- ② 日本では食事の時にハシを使うが、インドでは指を使う
- ③ 運動会の徒競走で男子が女子に負けると笑われたが、女子は男子に負けても笑われなかった。
- ④ Aのアパートは誰でも入居できるが、Bのアパートは「外国人の入居はお断り」としている。
- ⑤ ある部活動では上級生は掃除をしないが、下級生はいつも掃除をしなければならない。
- ⑥ Aさんはどこでも旅行できるが、車いすに乗っているBさんはひとりで電車やバスに乗ることができない。
- ⑦ ある学校のマラソン大会では、男子は5km走り、女子は3km走る。

人の気持ちを考えて行動できていますか?

関中学校の人権フォーラムで、私は「差別されてうれしいですか?」「いじめられてうれしいですか?」と生徒のみんなに問いかけました。その時に、みんなは首を横に振り「うれしくない」と答えていました。それはみんなの本心だと思います。人にかかわれたり、自分の言っほしくないことを言われたりすることは、あってはいけないことです。人の心を傷つけ、安心した学校生活が送れませんね。最近先生たちに、「言われたくないことを言われている」「SNSで嫌な投稿をされた」という相談が寄せられています。一人で悩まずに相談してくれたのでよかったですが、先生や保護者に相談しなければ自分たちで解決できないくらい悩んでいたのだと思うととても辛いです。「人のことをからかって、その場が面白ければいい」とか、「あまり考えずに言ってしまった」とか、あまりにも自分勝手な言い分で人を傷つけている人がいます。それは人間の尊厳を傷つける行動で、決してあってはいけないことです。人権学習や人権フォーラムで、みなさんは「差別をなくすための行動」について考えましたが、それが言葉だけで終わってしまっていては意味がありません。実際の場面でどのように行動するかが一番大切です。今一度、自分の言動やSNSの使い方等について、しっかり自分を振り返り、考えてほしいと思います。